

**福島ロボットテストフィールドを用いた
ドローンサービス品質標準に関する規格開発の推進マネジメント事業
仕様書**

1 事業の目的

現在ドローンを利用したサービス業界が立ち上がりつつあるが、未だサービス品質の標準が無い
ため、提供業者によって不十分な品質のサービスを提供し、業界全体への信頼を失墜させること
が懸念されている。

そこで、福島イノベーション・コースト構想推進機構が福島ロボットテストフィールドを活用
しこれまでに策定してきたガイドラインなどを基に、ドローンを利用したサービスにおいて、異な
る業種間であっても、提供するサービスの品質を維持向上させるために共通項を抽出及び規格化
し、その規格を遵守する仕組みを広く業界内に浸透させることで、業界に対する信頼を高め、市場
拡大を目指すための事業を実施する。

2 業務委託内容

(1) 委託事業名

福島ロボットテストフィールドを用いたドローンサービス品質標準に関する規格開発の推進
マネジメント事業

(2) 業務の内容

①規格開発における各種団体企業、外注先との調整業務

令和2年度計画として下記②③④⑤などを実施するために、必要となる調整など推進マネジ
メントを行う。

②準備委員会を設置し、意見収集、調査を実施

- ・規格開発のための準備委員会を設置し、業界団体からの意見収集を実施する
- ・準備委員会への応募団体から、属性のバランス良く参加団体を選定する
- ・委員会の運営団体と連携し上記の業務を取りまとめる

③関係各所からの情報収集

- ・参加団体から、各業界でサービス品質にかかわる規格、約束事、暗黙知などを収集す
る
- ・海外でドローンサービスを提供する団体及びドローンサービスについて規格を検討し
ている団体と情報交換する

④準備委員会内に素案作成分科会を設置し、規格の素案を作成

- ・収集した業界ごとの項目から、共通項を抽出する
- ・抽出された共通項に追加したほうが良いと考えられる項目を検討する
- ・選定された項目に対して、適切と考えられる基準値の設定と、設定された基準値の妥
当性を評価する
- ・規格の普及を十分考慮したうえで、規格素案の骨格（必要な箇条）を完成させる
- ・委員会の運営団体と連携し、上記の業務を取りまとめる

⑤トライアル企業・団体の選定（複数社）

- ・作成した規格素案を精査するために、サービサー企業を選定、規格素案を実装し、認

証トライアルに向けた準備を行う。

期間中、業務の取り組み内容の週報を提出すること。また、週に一度 TV 会議などによりその内容を報告すること。

(3) 実施期間

契約日から令和3年3月31日

(4) 納品成果物

成果報告書 紙媒体3部（正本1部、副本2部）、電子媒体1部（CD-ROM等）

以上